

令和5年 産業厚生委員会 行政視察報告書

報告者 平田 りり子

(調査先) 愛知県長久手市 10月11日

長久手市の概要

約100年前 上郷村、岩作村、長湫村が合併して誕生した長久手村、その後一度も合併などすることもなく、40年前の町制施行を経て平成24年1月4日に長久手市が誕生
名古屋市東側に位置 人口 62,538人

市の中央部を東部丘陵線(リニモ)が走っており、西には地下鉄藤が丘駅、東は愛知環状鉄道八草駅と乗り換えもできます。

車でのアクセスも東名高速道路名古屋ICや、名古屋瀬戸道路長久手ICが近く、交通の便に恵まれています。

名古屋に隣接した市西部は住宅地、商業施設などが多く都市化が進んでいます。また、市東部は、今なお自然を多く残しており、市街化された都市と自然豊かな田園の両面を併せ持っています。

住みごこち自治体トップ 4年連続

名古屋市に隣接している自然豊かなベッドタウン 新興住宅地・大学も多く

あぐりん村・ジブリパークがあり、商業施設も多い長久手市が4年連続1位 2位名古屋

市昭和区 3位名古屋市東区。

所感

街並みがキレイに整備され雰囲気がよく、旅行の際はとても便利

日本一若いまち 若い世代を中心に 毎年1000人単位で人口が増えている。

日本の経済を支える自動車トップメーカーの恩恵を受け、高速道路整備中、道路・ひと・

経済の流れが出来ており、人口減少の心配など全くない。

(調査先) 三重県いなべ市 10月12日

いなべ市の概要

- ・平成15年12月1日 員弁郡の4町が合併
- ・人口 44,691人 (R5. 4. 1)
- ・世帯数 18,998世帯 (R5. 4. 1)
- ・65歳人口割合 2.78% (R5. 4. 1)
- (産業) 製造業 56.3% (財政) 市税 89億円 一般会計予算 令和5年 240億円

名古屋から車で50分の距離にあり、自動車関連企業などが進出し、活力あるまちとして発展を続けています。西に鈴鹿山脈をいただき、中心に流れ出る員弁川を挟んで、田園地帯が広がる緑豊かな住みよいまちです。令和8年末までに東海環状自動車道全線開通が公表されており、更なる発展が期待されます。

いなべ市の強み

名古屋に近く、2019年3月に東海環状自動車道の大安ICが共用開始、名古屋から車でのアクセスが50分と、更によくなった。2024年には、市庁舎の直ぐ隣にIC開通予定。

ものづくり工場が多くいなべ産アルファード・ヴェルファイア、生産するトヨタ車体や燃料電池の高圧水素タンクを生産する豊田合成、デンソーなど大手自動車関連企業が進出、

都会からの交流人口を取り組み、関係人口にも力を入れて定住人口につげている。

交流人口の取り組みとして、アウトドア事業 にぎわいの森を展開、2019年新庁舎の敷地内にオープンした飲食店など5店舗が入る「にぎわいの森」をグリーンクリエイティブいなべ推進事業の核として、にぎわいの創出や交流人口の拡大を図っている。

ローカルセンスショップ事業

新庁舎敷地内ににぎわいの森は、まちづくりの拠点出店する業者については、公募を行い、分野・業態、バイオニア性、観光客からの支持、経営者としての資質に加え、にぎわいの

森に共感し、まちづくりへの参画を前提に事業展開をすることを条件とした。

*結果として 名古屋市・大阪市から、高い技術と独自の発想を持つ事業者が集まりました。

*各店舗が独自に商いを営むのではなく、お互いに連携し、地域の人を巻き込み、輪を広げ、新たな価値を生み出し続ける仕組みづくりを行う。

生業事業

生業を実現した若者との交流場を設け、生業の創出への後押し

キャンペーン事業による関係づくり 新しいまちづくり構想に共鳴し、若者が集まっています

新庁舎に近い、旧市街地区 2015年以降、空き家・空き店舗を活用したセレクトショップ、食堂、カフェ、ギャラリーなどが、次々と開業しました。

これらの場所は、まちの拠点となり、人や資源がつながり新たな業態が生まれるきっかけの場となっています。

*本市を選び、単なる稼ぎとしての仕事ではなく、地域なりわいとのつながりの上に成り立つ生業を求める若者、その移住、定住を推進することが、今後のまちづくりには不可欠です。

起業・創業の場を求める若者に対し、空き家物件等の情報提供や物件改修サポートを行っています。 金銭的支援なし

アウトドア推進事業

いなべ市農業公園（エコ福祉公園） いなべ市農業公園（梅林公園）

藤原岳 竜之岳 Nordisk Hygge Circles UGAKEI

青川峡キャンプパーク いなべ公園

所感

地方合併特例債 地方創生交付金 地方先行交付金 地方過疎化交付金 地方推進交付金
環境に関わる交付金など色々な交付金の活用が見てとれる。

自動車関連企業が多く、名古屋・大阪に近い、いなべ市の豊かな山林を活かし、

都会が求める、遊び・癒しを展開。地域も巻き込み品質の高いアイデア溢れる取組を進めているまちです。

にぎわいの森では、庁舎内の市職員の働きが見え化されており、市民・市職員が、にぎわいの森内のレストランを利用し、平日にも関わらず利用者が多く、市の職員と、近く親しみを感じ職員もイキイキして見えた。

公共施設の集約のあり方にかんしては、本市も学び、取り入れるべき所は多かった。

2024年には、庁舎の直ぐ隣に IC 開通予定のためますます交流人口は見込まれると考える。

(視察先) 愛知県常滑市 10月13日

常滑市の概要

市制施行 昭和29年4月1日 4町1村合併(令和5年4月1日現在)
人口 58,472人 世帯数 582,439世帯

常滑市人口増加率

常滑市の2020年総人口は総務省統計局が2021年11月30日公表58,710人5年前と比べると3.8% 空港開港後に区画整理などにより開発された住宅地に多くの子育て世代が流入し、出生数や年少人口が増加してきた。

子育て総合支援センター

常滑市子育ては、保健センター(子育て支援コーディネート) 子育て支援センター(事業母子保健事業)が連携し妊娠・出産・子育てを支えている支援事業

事業の目的

核家族化、近所付き合いの希薄化により、家庭内あるいは地域社会において育児に関する知識・知恵等の伝承や育児に関しての見聞、経験が少なくなっている。
近所に相談相手が少なく、不安感、孤独感が高まり、育児に悩む親が増えているため、社会全体で子育て支援をする基盤を形成することが緊要な課題となっている。

事業の内容

- * 子育て支援に関する情報の収集及び提供
- * 育児不安などについての相談
- * 子育て家庭のふれあい交流、学習会などの企画及び実施
- * 子育てサークルなどの育成、支援
- * 子育てボランティアの育成・支援
- * とこなめ子育て支援協議会の運営
- * 子育て支援関係機関及び団体との連携、調整

ふれあいルーム とこハートはあとルーム

○親子で自由に遊ぶ。みんなで手遊びをしたり、絵本を見たりする時間(はあとタイム)

対象：0歳児から年少児未満の子供とその保護者

子育て相談

○家庭児童相談員や保育士、臨床心理士などが相談に応じる。

ふれあい相談：子どもと遊ばせながら保育士等の相談に応じる。

子育てに喜びを感じ、安心して子どもを産み育てられるよう

- ・とこなめ市民交流センター内に設置。
- ・乳幼児を持つ家庭を対象に総合的に支援サービスを実施。
- ・地域子育て支援センターを各地域に設置。

支援内容

- ・とこハートはあとルームの開放（交流スペース提供）
- ・子育て相談
- ・発達相談（言語聴覚士）
- ・とこはあと相談（臨床心理士）
- ・子育て情報の提供
- ・子育てサークル
- ・ボランティア育成・支援
- ・講座の開講

地域子育て支援の設置状況（計5か所設置）

青海こども園 風の丘こども園 波の音こども園 こども園あるこ 小鈴谷保育園

養育支援事業

養育支援が特に必要である家庭に対し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当核世帯の適切な養育を確保します。ヘルパー：社会福祉協議会に委託家事支援を行う

子ども家庭相談事業

子育て総合支援センター・子育て支援課に、専任の相談員を配置し、知多児童相談センター等、関係機関と連絡をとり、問題児の相談、児童の健全育成に努めている。(発達・いじめ・不登校・虐待等)

利用者支援事業

- ・子育て総合支援センターで利用者支援事業の基本型を開始(母子保健課は健康推進課)
- ・娠期から子育て期までの切れ目ない支援の体制整備(利用者支援員保育士1人配置)

大人が学ぶペアレントトレーニング

子どもとの接し方のコツを学び日頃の接し方を振り返りながら、ホームワークやグループワークで学ぶプログラム 毎日が少しスムーズに、少し楽に過ごせる方法を、少人数グループで一緒に話して、一緒に学ぶ講座開催

シルバー子育て支援事業

教員経験のある会員を中心に多様な経歴のシルバー人材センター会員が、ひとりひとり

の学習状態をみながら教える、少数性の教室です。おさらい教室・学習教室は本来力が
ありながら伸び悩んでいる子、もう少し勉強に自信や意欲がもてる子やそんな子どもた
ちを対象にしています。 シルバー人材センターが子育て支援センターの隣にあり、
その、シルバー人材センター隣で、子ども向けのリサイクルショップをしてる。

「おさらい教室」

(国語 すうがく)

小学2～6年生 定員2～5名 料金40分の週2回 授業料月額：3350円
(習字)

小学1～6年生 定員2～15名 料金55分の週1回 授業料月額：3350円
(数学)

中学1～3年生 定員20名 料金60分の週1回 授業料月額：3350円
(英語)

中学1～3年生 定員20名 料金60分の週1回 授業料月額：3350円

所感

市役所敷地内に市営病院を置き、西知多産業道路を常滑へ延伸、住宅地に多くの
子育て世代が流入し、出生数や年少人口が増加。そのことから、子育て事業に力
を入れ、核家族化、近所付き合いが薄れつつある今、人とのつながりを大切にし、
年配者と市ぐるみで子育てを見守ることが、常滑市を選んで住んでいると思わ
れる。

この点は、本市も参考にしていきたいと思います。